

平成20年度第1回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成20年4月22日（火）午後1時35分～午後3時55分

場 所 八幡総合支所 第1会議室

出席者（13名）

1号委員 佐藤善一 荒生三雄 小野明美 御船孝

2号委員 後藤純子 村上三喜郎 後藤甚一 小野満洲雄 土井廣 高橋知美

3号委員 田村和徳 池田善幸 後藤泉

八幡総合支所：支所長 後藤登喜男、地域振興課長 松田文夫、地域振興課 永森忠嗣・御船正周・佐藤義夫

欠席委員 阿曾美智子委員、堀茂雄委員

傍聴者： なし

議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

(1)市長への活動報告時の要望等に対する回答について

(2)平成20年度八幡総合支所地域づくり予算、外について

(3)会議の持ち方及び運営等について

(4)今後の協議課題について

(5)その他

5 その他

6 閉 会

1 開 会

高橋副会長 本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。それではこれより、第1回地域協議会を開催します。都合により欠席の委員は、阿曾美智子委員と堀茂雄委員です。会議次第に従って、小野会長から挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

小野会長 本日はご多忙のところ第1回地域協議会にお集まりいただきありがとうございます。去る2月19日に市長に対しまして、19年度の協議会の活動報告及び提言を行い、その回答については既に委員にお知らせしているところです。本協議会は八幡地域の発展に資するための話し合いの場でありますので、本年度も忌憚のない意見ををお願いします。

3 会議録署名委員の指名

高橋副会長 会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は「委員名簿の順番で」となっておりますので、今回は“6番の御船孝委員”です。御船委員よろしくお願いします。

御船孝委員 わかりました。

高橋副会長 それでは早速協議に入ります。会長が議長となり協議を進めていただきます。

4 協 議

小野議長 それでは協議に入りますが、本日の協議会は、今年度最初の会議ですので、今後の会議の持ち方や課題についても話し合いたいと思います。まず、「市長への活動報告時の要望等に対する回答について」、事務局からお願いします。

後藤支所長（資料No. 1に基づき説明）

1の「市議会議員の定数減について」は、現在、議会で市民の意見を聴きながら、委員会を設け、検討を行なっています。2の「結婚相談員制度について」は、他市の事例等を検討し、実現の可能性を探りたいということです。3の「公民館のコミセン化について」は、全市的に平成21年度にコミ振の設立という市の方針があるわけですが、地域の特性に配慮して進めるということで、具体的なことについては地区公民館と相談していきたい。4の「賑わいと活力に満ちたまちを目指した産業の振興について」は、毎回、議会でも“雇用の確保”ということも含め議論が出ており、飛島沖の海洋深層水等、様々模索しているが決定打がない状況です。本地域ではヨーグルト工場の増築について検討しています。5の「ビジターセンターの設置について」ですが、建物はその後の維持管理を充分検討したうえでないと新設するのは難しいため、既存施設の利活用等を進めていくことをまず考えたい、ということです。6の「奥山林道管理について」ですが、回答にあるとおり、市で負担している経費の増額は難しい状況です。そのため、奥山林道も含めた、本地域の山の杉林にボランティアが入れないか、そうした場面の設定を地元と

ともに考えていきたい。7の「沖縄県東村との交流について」は、地域の特性を活かした事業ですが、市の財政状況から考えると、定期的に負担の見直しも必要である、ということです。8の「八幡タウンセンター整備構想について」ですが、昨日から地区説明会を開催しております。本構想は20～22年度事業となっておりますが、スケジュールが1か月少し遅れている状況で、予算の関係上、期限内に実施したいので、よろしくお願ひしたい。なお、各団体等も含め、出された意見及び要望については丁寧に回答します。

また、その他の意見として、(1)の「イヌワシ保護のためのスノーモービル規制について」ですが、国立公園の中での条例による規制は難しいと考えています。このため、スノーモービルの団体、メーカー、販売店を含めた会合を設定し、自主規制に向けた話し合いを行なうよう検討したい。(2)の「八幡タウンセンター用地の拡大について」は、駐車場の数等を調査のうえ、慎重に協議した結果、新たな用地は取得しない、ということとなりました。このため、現在の敷地での整備を進めて、よりよいタウンセンターにしていきたいと考えていますので、よろしくお願ひしたい。

松田地域振興課長（資料No. 5に基づき説明）

八幡タウンセンター整備構想について、補足します。面積は現在の中央公民館の1,600㎡より少し大きい2,048㎡で、西側に植樹帯を設けるとともに、玄関前に44台の駐車場を確保しています。本センターは地域の賑わいを創出することを目的とした建物で、周辺の景観に配慮し、鳥海山のイメージを、という要望に可能な限り答えた施設としています。また、本年2月19日に市長に対して、本構想についての要望書を提出していますが、それに対する回答について簡単に申し上げます。

- ①「安全で多目的な施設」については、既に説明のとおり多目的な施設としています。
- ②「緑を取り入れ、環境に配慮した施設」については、地域の豊かな緑に配慮した施設の予定です。
- ③「郷土資料閲覧の部屋整備」については、センターのロビーが6m幅で、スペースの有効活用から郷土資料等の展示を考えています。
- ④「駐輪場の確保」については、必要な駐輪場を確保いたします。
- ⑤「バリアフリーの建物」については、平屋建てでバリアフリーの建物といたします。
- ⑥「ホール・ステージ下への収納」については、ある程度の高さが必要となり、観客の立場での問題があるため、現在検討中です。
- ⑦「民具の展示資料室整備」については、③の回答と同様です。
- ⑧「観音寺公民館の独自の整備」については、現在も観音寺公民館は中央公民館と併用しており、当面は同様の予定です。
- ⑨「タウンセンターでの学童保育」については、既に4月1日から保健センターを利用して学童保育が開始しています。
- ⑩「保健センターと支所との段差解消」ですが、スロープにより往来が可能となります。

小野議長 ただ今事務局から説明がありましたが、皆さんの意見をお願いします。

後藤泉委員 本件の意見について、一体誰に言えば良いのか、旧町時代と違って、住民はそれに一番面食らっているのではないか。そのため、自分たちの意見がどうなのか、それが見えてこないのが不安です。

後藤支所長 意見は必ず本所に届けています。それから、タウンセンター構想について

は、一課で完結することはありません。全ての関係課が参集し、そこで協議していくという合議制ですので、時間がかかることについては、皆さんからご理解いただきたい。

松田地域振興課長 本構想には様々な団体から要望書が出されていますが、要望書の宛先を明記願いたいことと、その内容をこちらにきちんと説明してもらいたい、と思います。

田村和徳委員 タウンセンターの内容はどういうものを建てるのかを含め地域協議会に知らされなかった。そこで、是非地域の意見を聞いて欲しいとの再三の要望により、やっと昨年末に実現した、という経過があります。

後藤支所長 地域や様々な団体からの意見を取り入れた結果の建物となっていますが、その意見をどのように構想に反映したのかという説明がないため、地域には分かりにくい面があったのかもしれませんが。

後藤泉委員 本来であれば、地域の意見を本協議会も関わるなり、一本化して提出すべきだったのですが、そうしなかったため、各団体がバラバラに要望してしまった。

後藤支所長 それは今回の反省すべき点だったと思います。

松田地域振興課長 それから過日、身障厚生会から出された要望については、段差、手摺り、スロープ等を取り入れております。

高橋副会長 いろいろな団体から要望が出されており、それに回答するということが、その要望は重複部分があると思います。それらの要望を市民に知らせるということではできませんか。

松田地域振興課長 その団体の了解がないと難しいと考えます。

後藤甚一委員 タウンセンターに何名の職員が配置されるのか伺いたい。

後藤支所長 現職員数44名が入ることになります。ただ、行財政集中改革プランにより、今後、課の整理・統廃合は避けては通れないと思います。

小野議長 タウンセンター整備構想については、以上でよろしいでしょうか。次に「(2)平成20年度八幡総合支所地域づくり予算、外について」、事務局の説明を求めます。

永森地域振興係長 (資料No. 2・3・4に基づき説明)

まず、「平成20年度八幡総合支所地域づくり予算及び管内予算」についてですが、総額が11,738千円となっています。項目は前年度と変更はありませんが、市の他の予算と同様、全体として前年度比5%減となりました。各事業の概要はご覧のとおりです。なお、ご存知のとおり、道路関係暫定税率の期限切れに伴う歳入減の関係で、一部事業の執行を見合わせております。次に「平成19年度八幡地域協議会開催等の状況」ですが、既に委員には各回の会議録も送付していますので、ご覧のとおりの内容です。最後に、「中山間地域振興・地域座談会の報告について」です。本件は酒田市総合計画の中に“中山間地域の振興”という項目が位置づけられたことから、座談会での意見交換を通じ、地域課題等を発掘、住民が主体となった振興策を検討するとともに、具体的な行動に結びつけ、地域活性化につなげる目的で、日向及び大沢地区の2箇所を選定し、9月・12月・3月の3回開催しました。それぞれの地区で出された意見内容等は資料のとおりです。

小野議長 ただ今、事務局から説明していただきましたが、皆さんからの意見等をお願いします。

村上三喜郎委員 このままでは、日向・大沢地区が取り残され、ますます過疎が進むのではないかと考えます。過疎債・電源立地交付金があるはずで、それらを用い、過疎地域の振興を図る予算配分があっても良いのではないかと。とっぴな意見ですが、電源立地交付金を積立て、それを温泉の採掘に使ってはどうかと思います。

後藤純子委員 日本の食糧自給率が39%と言われていますが、埼玉では米粉でパンを作り、地産地消を図っているそうです。“新出”でも作っているようだが、八幡に市全体の米粉パン工場を作れば、若い人の働く場所もでき、地域の活性化につながるのではないかと。

後藤支所長 今ご意見をいただきましたが、様々な施策を行政でやろうとすると、議会等で、なぜ行政がやらなければならないのか、という議論になります。電源立地の関係ですが、三保六の流雪溝整備は本交付金で行なったものです。委員から交付金の積立てをしてはどうか、という意見がありましたが、事業を実施することから交付金が配分されるのであり、またその事業も審査を受けなければなりませんのでご了解願います。

村上三喜郎委員 人がやらないことをいち早くやる、ということが大切だ。そういう地域のやる気を育てることが行政の役割だと思う。

池田善幸委員 予算は一律5%カットということだが、市全体をどう発展させるのかという視点が大事である。企業誘致だけではなく、地場産業の育成に力を入れるため、行政によるアドバイスや支援が必要になってくる。やはり地域にある鳥海山を市の観光にどういう形で生かすかを探ることと、そのための人づくりが大事だと思う。

後藤支所長 海岸の松林に公文大を含めたNPOがボランティアとして入っているが、八幡地域の山林にも入っていただくことができないのか、検討したい。また本地域は農業が基幹産業であるため、今後の地域振興策についても農業を中心に据え、関係機関と一体となって考えていきたい。

後藤甚一委員 学校の統合問題は、今どういう状況ですか。

松田地域振興課長 担当の教育振興室長が本日来ておりませんので、残念ですが、詳細はお答えできかねます。

土井廣委員 今年度事業の中に、八幡浄化センター建設事業とあるが、詳細を教えてください。

後藤支所長 詳細はあとで委員にお知らせします。

小野議長 ほかに皆さんからありませんか。なければ、「(3) 会議の持ち方及び運営等について」、事務局からお願いします。

松田地域振興課長 たたき台として、年間予定(案)を作成しました。5回の会議を予定しており、1回目は本日は、地域をどうしたら良いのか、を議論していただき、それを踏まえ、2回目は論点・課題を絞る。3回目はそれに対する所管課との勉強会を行い、4回目はそれに基づきさらに議論を深めていただく。そして、5回目は市長に対する活動報告を行なうために、意見を取りまとめたいたいと考えております。なお、議論の

中で、予算が必要ということになった場合、地域づくり予算の中で対応可能なののかも検討したい。それから議論の参考として、新市の建設計画を資料として提示しております。

小野議長 ただ今、事務局から平成20年度の本協議会の予定（案）について説明がありました。皆さんの意見をお願いします。

松田地域振興課長 やはり、議論を焦点化し、協議会としての意見をまとめていくようにしていただきたい、というのが希望です。

後藤支所長 総合計画及び新市の建設計画にある以外の事業については、予算等の関係から対応が難しい状況なので、計画にあがっている事業について議論し、行政に提言していくことが必要と考えます。

土井廣委員 我々に情報が来たときには、もう既に決まっていた、ということでは、議論しても張り合いがありませんので、大きい課題については、地域に投げ掛けてもらいたいと思います。

小野議長 それでは、この年間予定（案）を承認することで、ご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

佐藤善一委員 やはり焦点を絞って議論した方が要望等もしやすいのではないかと考えます。

小野議長 次に「（4）今後の協議課題について」、に移りたいと思います。

松田地域振興課長 本日の会議の案内でもお伝えしたとおり、各委員から考えてきていただいた課題を出してもらい、それを会長からまとめていただければと考えます。

小野議長 皆さんからご意見をお願いします。

田村和徳委員 皆さん、地域を良くしたい思いで、5年後、10年後の八幡をどうしたらよいか、ということのをこれまでも議論してきたと思います。私は“何かをやる推進委員会”的な組織の立上げの議論をしたいと考えており、升田の“玉簾の滝”を主体にしたまちづくりについて話し合いたい。

村上三喜郎委員 このままでは地域がますます悪くなっていく気がする。支所の職員には住民と一体となって地域を良くしていく、という気持ちでやってもらいたい。これからは、地域と行政、そしてボランティアが協力し合う体制作りが必要だと考える。

佐藤善一委員 私は、誰が地域を引っ張っていくのかという「拠り所」と「拠点づくり」が必要であると考えます。このため、今年度はそういう方向を示すための議論をしていきたい。

土井廣委員 先ほど後藤善一委員から学校統合の話がありましたが、地域にとって、非常に重要な事柄ですが、果たして、それを議論して意見を集約したところで、それを取り上げてもらえるのか、という危惧があります。事務局から、こういう大きなテーマがあるから意見を聞きたい、ということを示してもらった方が時間も無駄にならないのではないかと。

松田地域振興課長 学校統合については、学区改編審議会から答申があり、教育委員会で既に方針を決定しています。また市の「行財政集中改革プラン」に21年度にコミ振を設立、とありますが、これに対し設立をしないでもらいたい、などという意見・提言はいかがなものか、と考えます。

後藤泉委員 例えば、コミ振について、当所は公民館との違いの勉強会から始まり、様々議論しましたが、市の方針として決定しているのであれば、協議会の議論の意味はないように思います。土井委員からもあったように、5年後を見据え、こういう大きな問題があるから、ということで事務局から提示してもらった方が議論しやすいのではないかと私は、「観光振興」、「学校統合後の跡地利用」、「公共施設の有効利用」を取り上げたいと考えます。

後藤支所長 ポイントを絞っての議論と本協議会での議論として適当か、という視点は必要だと思いますので、委員と連携を取り、今年度の運営を行なっていきたい。先ほど八幡の山林にボランティア団体から入ってもらえないか、ということを申しましたが、そうした活動の場を作ることと、目に見える形で事業を実施することが必要と考えます。

小野議長 委員からいろいろな意見をいただきましたが、事務局と相談し、これらを精査のうえ協議課題にしたいと考えます。それでは、「(5) その他」について、事務局からありませんか。

事務局 ありません。

5 その他

小野議長 では皆さんからありませんか。

後藤純子委員 本協議会でも議論した“学童保育”が4月1日から開所され、指導員もがんばっているということをお伝えします。

6 閉会

小野議長 本日は各委員から様々な意見をいただきました。これを踏まえ、成果のあがる協議会になることを願って、本日の協議会を閉会します。